

# 平成25年度定時総会資料

## 第1号議案

議事録署名入選出の件

続いて特別講演（管理栄養士・栄養士研修会）、総会議事を次のとおり開催した。

## 第2号議案

平成24年度事業報告および収入支出決算報告並びに監査報告承認の件

日時 平成24年5月26日(土) 10時～14時40分

場所 千葉市美浜区若葉2-10-1  
千葉県立保健医療大学 講堂

内容 総会式典 10:00～10:40

特別講演 10:40～12:20

「人生80年時代の発育期の食育」

講師 帝京科学大学子ども学部児童教育学科

教授 上田 玲子

総会議事 13:10～14:40

出席者数 1,161名（内委任状1,029名）

## 平成24年度事業報告

### I. 平成24年度定時総会の開催

平成24年度定時総会は、川島貞夫：千葉県健康福祉部長、山口淳一：千葉市保健福祉局健康部長、浅野薫之：千葉県歯科医師会長、佐野彰：千葉県議会議員・顧問をはじめとする13名の来賓をお迎えして式典を行い、引き

### 平成24年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態、および、栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る管理栄養士・栄養士の実務とおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学等に跨る食と栄養の学術および科学技術の振興（公益法人認定法別表1号）を図るものである。
6号	本事業は、「事業の内容」欄に記載した一連の取り組みなどとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興（公益法人認定法別表1号）を図り、もって公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催】	
本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、四つの柱からなり、(1)一つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2)二つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3)三つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4)四つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならではの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。 以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。 以下に平成24年度事業の実施概要を記載する。	
I. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業（定款第4条第1項第1号）	
1. 栄養・健康に関する調査研究事業	
1-1 栄養指導研究所の運営（学術部）	
栄養指導研究所は、管理栄養士・栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援と普及などに関する事業を充実し、日常業務における給食管理、栄養指導、食事療法の充実を推進し、食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを目的として設置し、平成24年度は、栄養指導研究所運営委員会・運営協力者合同会議を開催し、事業運営体制の整備を図るとともに、千葉県栄養士会雑誌の企画・原稿執筆への協力などを通じて職域協議会における研究事業の推進、管理栄養士・栄養士の研究業務の推進と研究論文の作成の指導、千葉県栄養改善学会の企画などの事業の充実を図った。併せて、栄養千葉へ「栄養指導研究所だより」を掲載した。 【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④管理栄養士・栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】	
2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興	
2-1 千葉県栄養改善学会の開催（学術部）	
栄養学と栄養改善技術に関する最新の学術的な知見に基づく講演・教育講演と管理栄養士・栄養士による研究発表などを行う学会を開催した。さまざまな職域分野で働く管理栄養士・栄養士の研究成果を集約・普及することにより、よりおいしく安全な食事作り	

や、効果的な栄養指導、給食管理、食事療法などの充実を図った。平成24年度は平成25年2月2日(土)千葉県立保健医療大学において特別講演「第2次千葉県食育推進計画について」、教育講演「仕事で情報を扱う方法－自分の身を守るために－」、一般口演25題および協賛会員42社による優良商品の展示などを行った。参加者は228名であった。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-2 「食育媒体の作製と開発」の実技研究会の開催（福祉）

新しい食育媒体の開発と食育指導技術の向上を目的として、実技研修会を千葉市蘇我勤労市民プラザにおいて2回開催した。1回目は7月5日(木)47名が参加し「魚の解体キット」を、2回目は7月24日(火)43名が参加し「うんち人形」を作製した。講師は手芸家であり食育指導士の板良敷信子先生に作製と実演方法をご指導いただいた。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④講師は食育指導士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-3 事例研究会の開催（地活）

人々の健康増進につなげるため臨床の場にあり、しばしば深刻な症例を経験している病院の管理栄養士から指導を受け、栄養指導の事例をもとに病態栄養学の知見をどのように活用するかを研究し、また郷土料理を題材にして日常生活の中で食育指導、栄養指導の技術を確立するための研究を行い、臨床栄養指導技術を日常生活の中で生かすための技術・方法を開発することを目的に行った。

平成24年度は時間栄養学の理解を深めるための自己研鑽を8月23日千葉県栄養士会事務所において開催し12名が参加し、更にロコモティブシンドロームの理解を深め指導に活かすための講習会を2月6日千葉県栄養士会事務所において開催し17名が参加した。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所壁面掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野の管理栄養士・栄養士に最新の情報と知識を伝えることを目的として、食事と栄養科学と実用技術に関する学術文や栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践事例報告、職場だより（職場からの報告）などを掲載し、栄養千葉発行に併せて年3回（4月、8月、12月）発行した。記事は県民や広く管理栄養士、栄養士にも読んでもらえるよう千葉県栄養士会ホームページに掲載するとともに、本会事務局外壁掲示板に掲載した。

【①県民、管理栄養士・栄養士、関連職種 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-5 栄養士調理師合同研究発表会（病院）

病院で共に働く管理栄養士・栄養士と調理師から日ごろの治療食や栄養指導などに関する研究を募り、発表してその事例や知見を広く普及し治療期間の短縮や治療の向上に役立てるとともに、治療食や栄養指導などの学問の振興を図ることを目的として、平成24年10月27日(土)千葉市生涯学習センター 大研修室において開催し、管理栄養士・栄養士・調理師54名が出席した。研究発表4題と特別講演は「世界の術後食とわが国の術後食」と題して大久保病院外科部長：丸山道生先生により行った。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所壁面掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

## 3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

### 3-1 「『千産千消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承発展に役立てることなど目的として、食育健康料理教室開催のために作成したレシピのうちから、普及することが必要と思われるレシピを食育・健康料理教室推進委員、栄養指導研究所運営委員などが担当して、分類整理して写真と作り方などをホームページへ「『千産千消』レシピ」として掲載し普及に努めた。

なお、「千産千消」は、千葉県の第2次食育推進計画において「地産地消」とされていることから、25年度からは「『地産地消』レシピ」とすることとした。

【①県民、管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③開発 ④管理栄養士・栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

### 4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議等に参加し、専門職能団体としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。平成24年度の各委員会・会議は以下のとおり。

千葉県医療推進協議会、千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会、千葉県アレルギー対策推進協議会、千葉県米消費拡大推進協議会、千葉県食品等安全・安心協議会、健康県ちば宣言プロジェクト推進協議会、千葉県男女共同参画推進連携会議、千葉県介護予防市町村支援委員会、千葉県留置施設委員会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、千葉県共用地域連携パソワーキンググループ脳卒中中部会、健康ちば21計画策定作業部会、全国高等学校総合体育大会千葉県実行委員会

【①県民 ②県の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門的知見を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

### 4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会・会議等に参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。平成24年度の各委員会・会議は以下のとおり。

千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、新世紀ちば健康プラン推進協議会（市民健康づくり大会）、千葉市学校給食センター運営委員会

【①県民 ②市の諸施策の公開・広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門的知見を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として行った。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの登載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、管理栄養士・栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施にあたっては、適宜、関連諸科学の定評のある研究者

(大学教員)、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同することとして、理論および実用性の両面において高い質を確保した。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯学習の推進、および、養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人ひとりの県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する管理栄養士・栄養士を育成する事業

定款上の根拠 第4条第1項2号

事業の種類(認定法別表) 事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係

6号 本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人ひとりの県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する管理栄養士・栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。

健康増進法(平成14年8月2日法律第103号)第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、管理栄養士・栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適うものである。

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

この事業は、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人ひとりの県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する管理栄養士・栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。管理栄養士・栄養士の人材育成事業であり、(1)その柱の一つ目は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯学習研修会である。すべての管理栄養士・栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2)二つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3)三つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人ひとりの県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する管理栄養士・栄養士を育成する。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。

以下に平成24年度の事業の実施概要を記載する。

## II. 健康づくりに貢献する管理栄養士・栄養士を育成する事業(定款第4条第1項第2号)

### 1. 継続教育・生涯学習事業—基幹研修制度

#### 1-1 新人研修会の開催(組織部)

日本栄養士会が生涯学習の中に新人を対象とした研修を組み入れたことから、生涯学習の中に組み入れて実施した。

#### 1-2 生涯学習研修会の開催(学術部)

管理栄養士・栄養士の卒後教育の基幹をなす研修事業であり、体系的プログラムをもとに、5年間で60単位を取得するものとして、必ず身につけておくべき事柄など管理栄養士・栄養士としての基礎体力の醸成と増強を図る事業とし、最新の知識を伝達するための講座や、専門職として知っておくべき情報を伝える講座などを組み合わせて、各々の管理栄養士・栄養士の勤務する分野を網羅できるように組み立てた研修会となるよう企画した。

平成24年度は、新人を対象とした内容や保健指導を実施するうえでスキルアップに役立つ内容を加え、必須科目2単位を含め17単位を、平成24年6月9日(土)、7月7日(土)、8月11日(土)、9月1日(土)、10月27日(土)の5日間にわたって開催した。受講者数1,349名、修得単位1,349単位、修了証発行6名であった。

開催に際しては、開催案内をホームページに掲載するなどして広く管理栄養士・栄養士の参加を募った。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は管理栄養士・栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 1-3 中堅管理栄養士・栄養士研修会開催の検討(組織部)

職場における業務と本会の公益目的事業を中心的に担う者が必要とされる技術・能力を再生・強化させるため、それぞれの職場・地域で活躍する中心的な役割を担う中堅管理栄養士・栄養士を対象に職場における業務の充実と公益活動の主力となる人材を育てる事業として実施することとし、平成24年度はそのための準備活動として開催方法・研修内容などの検討を行った結果、生涯学習の中に組み入れて実施することとした。

【①経験5~20年程度の中堅の管理栄養士・栄養士 ②本会事務所壁面掲示版、ホームページ、栄養千葉 ③講座・セミナー ④管理栄養士・栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 1-4 日本栄養士会との共同研修事業の実地(事業部)

「Soylutionセミナー」を12月7日(金)に千葉市総合保健医療センターにおいて実施した。内容は大豆をメインテーマとした公開セミナーで、講演1「大豆は世界を救う」と講演2「大豆の実践レシピ」を行い、その他、「ダイズに関する情報提供」と千葉市保健所管内の特定給食施設で喜ばれている大豆料理のレシピ紹介を行った。運営は千葉支部が行い、参加者は184名であった。

【①管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士・栄養士、関連諸科学の研究者および実務家 ⑤共催 ⑥非該当】

#### 1-5 保健指導担当者等業務向上研修会の開催(学術部)

保健指導担当者のスキルアップのための研修会は、生涯学習研修会に組み入れて実施した。

平成24年4月1日の診療報酬改定に伴って栄養管理実施加算が入院基本料に包括され、有床診療所にも拡大されることになった。これに伴って栄養管理を行うことのできる管理栄養士の確保が必要になり、日本栄養士会は都道府県栄養士会に依頼して「栄養管理研修会」として全国的な規模で行うことになった。本会は、10月21日、本会事務所において日本栄養士会の作成したテキストを使用

して、制度の概要、入院栄養管理計画書の書き方・演習を内容とした栄養管理研修会を開催し、管理栄養士30名が参加した。  
**【①管理栄養士 ②本会事務所外壁掲示板に掲示、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】**

## 2. 特定職域・特定種類業務研修事業－職域研修制度

### 行政栄養士協議会

#### (1) 中央研修会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成24年 4月26日(木)	中央研修会	講演 「食物アレルギーの新しい考え方による対応」 講師 神奈川県立こども医療センター アレルギー科 部長 栗原 和幸 講話 「千葉県災害時アレルギー性疾患対応ガイドライン」 講師 千葉県健康福祉部疾病対策課 技監 永山 洋子 説明 「平成24年度健康づくり・栄養改善事業について」 講師 千葉県健康づくり支援課 食と健康・がん対策室 副主幹 國府 雅子	プラザ菜の花	72名 他協議会 18名 会員外3名
10月20日(土)	中央研修会	講演 「時間栄養学について ～時間栄養学を理解し、効果的なダイエットを～」 講師 日本大学薬学部 教授 榛葉 繁紀 事例発表 ア「高齢者の食事セミナーにおける体力測定・食事調査結果について」 千葉市花見川保健福祉センター 健康課 管理栄養士 平山 仁美 イ「ウエストへるス塾について」 陸沢町役場 健康福祉課 栄養士 中村 智美	千葉県教育会館	87名 他協議会 22名 会員外3名

#### (2) ブロック研修会

5ブロック（東葛・利根・黒潮・さざなみ・千葉市）ごとに地域特性にあった内容で研究や業務検討を行い、会員相互の資質向上に努めた。

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出席数
東 葛	平成24年 6月26日(火)	【業務検討】 ・平成24年度健康づくり事業・栄養改善事業 ・災害時における保健所管理栄養士の役割について	市川健康福祉 センター	8名
	7月2日(月)	各市実施業務について ・重点および新規事業を中心に ・防災計画における管理栄養士の役割	柏 市	16名
	12月18日(火)	業務検討「健康づくり事業・栄養改善事業について」 ・給食施設における災害対策について ・備蓄食品例および献立例の検討	習志野健康福祉 センター	6名
	平成25年 1月21日(月)	1 情報交換 ・特定健診特定保健指導の今後の実施計画について ・町村共同の活動における効果的な情報発信について ・健康日本21最終評価をうけての各市健康づくり計画について 2 次年度のテーマ 3 その他	我 孫 子 市	17名
	3月12日(火)	業務検討「備蓄食品例および献立例の検討」	松戸健康福祉 センター	7名
利 根	平成24年 6月28日(木)	情報交換 [午前] ・災害時の食生活支援について [午後] ・離乳食支援・指導について	香取健康福祉 センター	14名
	8月2日(木)	保健所業務検討 ・給食施設指導について	印旛健康福祉 センター	4名
	平成25年 2月25日(月)	[午前] 事例発表 「推進員活動について」 発表市町：栄町、東庄町、銚子市 [午後] 情報交換 推進員活動支援状況	八日市場地域保 健センター	16名
黒 潮	平成24年 8月7日(火)	[午前] 1 平成24年度の事業計画 2 業務検討 ・「地域防災計画の栄養士の関わりについて」	長生健康福祉 センター	14名

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出席数
黒 潮		[午後] 【業務検討】 市町村 離乳食支援・指導について 保健所 給食施設指導について	長生健康福祉センター	
	平成25年 1月22日(火)	講話「災害時における栄養・食生活支援」 講師 旭市健康管理課 管理栄養士	長生健康福祉センター	17名
さざなみ	平成24年 5月2日(水)	【業務検討】 「食生活改善推進員の養成について」 【活動紹介】 「安房保健所管内食生活改善協議会の活動について」	安房健康福祉センター	20名
	8月6日(月)	研修テーマ 「学童期からの生活習慣病予防事業について」 【事例発表】 「学童期からの生活習慣病予防事業について」 (事例発表：鴨川市) 【業務検討】 テーマについて、各市町・健康福祉センターからの報告および検討等	市原健康福祉センター	17名
	平成25年 2月12日(火)	研修テーマ 「生活習慣病予防のための男性への早期介入手法について」 【事例発表】 「メタボ撃退塾」(事例発表：木更津市) 【業務検討】 テーマについて、各市町・健康福祉センターからの報告および検討等 【事例発表】 「管内行政栄養士業務研究会の取り組み」 (事例発表：安房健康福祉センター)	木更津市保健相談センター	19名 他協議会 3名 会員外2名

千 葉 市	平成24年 5月2日(水)	【業務検討】 「健康づくりのための運動実技について」 講師：健康運動指導士 平 千恵子	千葉市総合保健医療センター	6名 会員外1名
	7月6日(金)	【業務検討】 「高齢者の食事セミナーにおける食事調査・ 体力測定結果について①」 講師 千葉県立保健医療大学 健康科学部栄養学科 荒井 裕介	千葉市総合保健医療センター	13名
	8月6日(月)	【業務検討】 「高齢者の食事セミナーにおける食事調査・ 体力測定結果について②」 講師 千葉県立保健医療大学 健康科学部栄養学科 荒井 裕介	千葉市総合保健医療センター	13名
	9月18日(火)	【業務検討】 「高齢者の食事セミナーにおける食事調査・ 体力測定結果について③」 講師 千葉県立保健医療大学 健康科学部栄養学科 荒井 裕介	千葉市総合保健医療センター	13名

#### 病院栄養士協議会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成24年 4月21日(土)	研 修 会	テーマ 「楽しく学ぶ！栄養指導におけるコミュニケーション技法」 講師 文教大学人間科学部教授 石原 俊一	千葉市生涯学習センター	47名
6月30日(土)	ブ ラ ク テ ィ ス セ ミ ナ ー	テーマ 「肝臓病栄養治療に必要な肝臓の知識と 実践に役立つ肝臓病栄養治療」 講師 獨協大学越谷総合病院内科准教授 鈴木 壱和	千葉市生涯学習センター	68名
7月12日(木)	施設見学研修会	「業務用厨房見学・体験ツアー」	東京ガス供給センター業務用厨房ショールーム 「厨BO.SHIODOME」	15名
平成25年 1月27日(日)	臨床栄養研修会	テーマ 「栄養士が行う生活習慣病指導へのアプローチ」 講師 せんぼ東京高輪病院 足立 香代子	千葉市文化センター	118名

地区研修会

地区	開催日	内 容	会 場	出席数
千葉地区	平成24年 9月15日(土)	テーマ 「生活習慣病セミナー、ウエルエイジング」 講師 (株)アスタリール 北村 敦	井上記念病院	31名
船橋地区	平成24年 10月18日(木)	テーマ 「CKDと食事療法」 講師 (株)キッセイ薬品 小池 昌志	青山病院	10名
市川地区	平成24年 9月14日(金)	テーマ 「糖尿病患者様の薬物療法について」 講師 (株)三和化学研究所 松崎 正博	市川文化会館 第一会議室	12名
野田地区	平成24年 9月26日(水)	テーマ 「肝臓病の栄養療法について」 講師 (株)クリニコ 長江 亜季	野田病院	9名
香取地区	平成24年 7月31日(火)	テーマ 「誤嚥性肺炎の予防における口腔ケアについて」 講師 (株)ビーンスターク・スノー 瀬川 貴雄	県立佐原病院	14名
香取・海 地区	平成24年 7月18日(水)	テーマ 「病院食をセンスアップするには」 講師 多田 鐸介	旭中央病院	30名
勝浦地区	平成25年 3月26日(火)	テーマ 「栄養学の応用について」 講師 弓狩 康三	デスポワール大原	10名
鴨川地区	平成25年 3月22日(金)	テーマ 「プロバイオティクスの医療現場での応用」 講師 (株)ヤクルト 河見 浩司郎	亀田総合病院 職員食堂	17名
木更津地区	平成24年 10月15日(月)	テーマ 「口腔ケアの大切さ」 講師 西濱 彩乃	君津中央病院 4階講堂	45名

学校健康教育協議会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成24年 4月20日(金)	研 修 会	講演 「学校給食における食事摂取基準の活用の仕方」 講師 大阪市立大学大学院生活科学研究科 教授 由田 克士	千葉県教育会館	220名 会員外316名
11月17日(土)	秋 季 研 修 会	勉強会 「学校給食摂取基準の考え方に基づいた栄養管理について」 講師 淑徳大学客員教授 田中 延子	千葉県教育会館	85名 会員外25名
平成25年 2月9日(土)	調 理 講 習 会	中華料理を学校給食に提供するための調理方法・味付け等を学ぶ	四 川 飯 店	40名

福祉栄養士協議会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成24年 4月24日(火)	研 修 会	講演 「災害時の危機管理について」 講師 危機管理教育研究所 国崎 信江	千葉市 文化センター	40名
6月11日(月)	研 修 会	講演 「介護報酬改定の要点について」 講師 特別養護老人ホームプレーグ本塾施設長 湯川 智美 事例報告 特別養護老人ホームひまわりの丘 管理栄養士 富松 浩美	千葉市民会館	60名 会員外10名
9月6日(木)	施 設 見 学	ヤクルト・キューピー工場見学	茨城県五霞市	25名 会員外2名
10月31日(水)	研 修 会	講演 「摂食機能の発達から機能の減退まで」 講師 日本大学松戸歯学部 野本たかと	千葉市民会館	45名
平成25年 2月18日(月)	研 修 会	講演 「障害児・者における栄養ケア・マネジメント」 講師 特別養護老人ホームアコモード 管理栄養士 寺山 加恵	千葉市蘇我勤労 市民プラザ	33名

集団健康管理栄養士協議会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成24年 4月21日(土)	視 察 研 修	寒天についての講義と寒天を使ったメニューの提案と試食・売店などの見学	東京都新宿区初台 伊那食品工業株 式会社会議室 かんでんぱぱカフェ	4名 会員外1名
6月30日(土)	見学・体験学習	ガイド付き見学コース「地震発生後72時間の生存力をつける体験学習ツアー」 首都直下地震発生から避難までの一連の流れの体験。世界の防災用品を展示した防災ギャラリー見学の他、非常食の試食	東京臨海広域防 災公園そなエリア 東京防災体験学 習施設	6名 他協議会2名
12月8日(土)	料 理 講 習 会	カクテキ他4品の韓国料理講習会 講師 愼 月順	韓国宮中料理ム グンファ無窮花	8名

**地域活動栄養士協議会**

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成24年 4月28日(土)	総 会	通常総会	保健医療大学	50名
4月28日(土)	研 修 会 (第1回)	「生活習慣病予防のための食品の機能の活用」 神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科 教授 饗場 直美	保健医療大学	50名
10月4日(木)	(第2回)	「災害対応の食事について」 ホリカフーズ 新潟大学非常勤講師 歯学博士・防災士 別府 茂	栄養士会事務所	16名
11月3日(土)	(第3回)	「脂質代謝異常を学ぶ」 千葉県立保健医療大学 准教授 宮本佳代子	保健医療大学	50名
8月23日(木)	事 例 研 究 会 (2～3回)	時間栄養学の講義を受けて 「グループワーク」 ロコモティブシンドローム 千葉県立保健医療大学 教授 長谷川卓志	栄養士会事務所	12名
2月6日(月)			栄養士会事務所	17名
8月7日(火)	視 察 研 修	日清オイリオ横浜磯子工場見学 中華料理研修 運動指導の実際 —自ら運動体験をしよう— 日本料理研修	横浜 荔香尊	14名
10月12日(金)			日本エアロビクスセンター スイス亭	17名
平成25年 1月27日(日)	情 報 交 換 事 業	味覚探訪・情報交換	日比谷・松本楼	14名
	協 力 事 業	食育・健康料理教室 調理師試験対策事業		43名
	自己研修・自己研 鑽素材の提供事業	151号～153号 各450部		

**研究教育栄養士協議会**

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成24年 8月31日(金)	研究教育事業部 ブロック研修会	講演会 「健康的で美味しい食事作りのコツ～栄養士として何を習得しておくべきか」  パネルディスカッション 「管理栄養士・栄養士への期待と課題～多職種連携の視点から管理栄養士・栄養士養成を考える」	昭和学院短期大学	42名

**千葉支部**

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成24年 10月17日(水)	病態栄養研修会	講演「離乳食から高齢者までの咀嚼・嚥下機能の変化について」 講師 千葉県立保健医療大学 教授 工藤 典代	千葉市総合保健医療センター	117名

**3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業（組織部）**

公益目的事業の担い手となる人材を確保することは、本会が継続して安定的に公益事業を実施するうえでの基本となるものであることから、公益社団法人への移行に合わせて「入会のおすすめ」の改定を行った。そして、千葉県のホームページや千葉県の情報公開制度の利用などにより病院、福祉施設、産業給食施設などの名簿を入手し、未加入施設660施設に入会案内文書、入会のおすすめ、研修会の案内などの発送を行った。また、栄養千葉111号発送時に「会員拡充運動の推進のお願い」文書を同封して身近にいる未加入者への入会の勧奨を依頼した。これにより、新たに21名が会員になった。

併せて、県内にある管理栄養士・栄養士養成施設5施設のうち、日程面で訪問して説明することが可能な2施設には会長が直接卒業予定者に専門職業人としての生涯にわたる研修の必要性和、栄養士会の役割・組織・事業内容などを説明した。訪問することができない3施設には、資料を送付して担当の教員に説明をお願いした。県外についても総武線沿線を中心に4施設に資料を送付して千葉県からの学生への配布を依頼するなどにより卒業予定者への入会の働き掛けを行った。併せて、卒業式、入学式に祝電を打った。

【①県民 ②本会事務所壁面掲示板、ホームページ ③その他 ④中身を管理栄養士・栄養士が吟味 ⑤単独 ⑥該当なし】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、研修等の内容や開催日時、受講資格が開かれていくことなどをホームページへの登載、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には、管理栄養士・栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務化養成の見地から、適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質を確保した。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う管理栄養士・栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物等による知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをとおして、県民の健全で豊り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業
定款上の根拠	第4条第1項3号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9にも該当する)。
9号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9にも該当する)。
<b>事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催】</b>	
<p>健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、本事業は、管理栄養士・栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、三つの柱からなり、(1)一つ目の柱は、個々の県民の個性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。(2)二つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。(3)三つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この三つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動をとおして、本会は、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。</p> <p>以下に、平成24年度事業実施の概要を記載する。</p>	
<b>Ⅲ. 県民が健康で豊り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業 (定款第4条第1項第3号)</b>	
<b>1. 個別特性対応型の自律支援事業</b>	
<b>1-1 テレフォン栄養相談事業 (広報部)</b>	
<p>毎週月曜日の10時から16時まで電話による「食べ物なんでも相談」を実施して、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け相談員が回答することにより県民の食を通じた健康づくりを支援することを目的として実施した。事業の適正な運営を図るため、9月、3月の2回担当者会議を開催した。相談件数の増加に向けて、事業の案内を千葉日報現代食事に掲載するほか、千葉県中小企業中央会「情報紙」に掲載した。併せて、名刺サイズの広告の配布などを行った。24年度は、22件の相談数であった。相談内容としては食品に関するものが多かった。</p> <p>【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、ホームページ 本会事務所外壁掲示板 ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<b>1-2 特定保健指導の実施 (総務部)</b>	
<p>旭化成ライフサポート㈱の支援を受けて行う予定であった中央建設国保千葉土建かずさ支部の特定保健指導は、諸般の事情により本会が自ら対象者の確保から国保連への請求までの業務のすべてを行うこととした。千葉土建の特定健診・特定保健指導を行っているまくり診療所の協力を得て、指導方法・内容の決定、マニュアル・帳票類の作成、教材・備品の確保、担当者の研修など必要な準備を進め、11月25日(日)に第1回の初回面談を行った。その後、国保連への請求、6ヶ月の継続指導などを行った。25年3月までに延べ13名(動機づけ支援4名、積極的支援9名)に対して初回面接を行った。</p> <p>【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③相談、助言 ④管理栄養士・栄養士による相談、助言 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<b>1-3 介護予防栄養改善事業の実施 (総務部)</b>	
<p>御宿町の介護予防教室「元気いきいき教室」を㈱ニチイ学館が受託し、栄養改善プログラムの実施について本会が委託を受け、平成23年度に引き続いて実施することとした。テキストの作成、担当者打合せ会などを行って10月18日(木)から11月15日(木)まで9回(うち2回は調理実習)にわたる講座を3名が担当して実施した。受講者は、事業の募集期間が短いことなどから20名の定員に対して6名と少なかった。終了後、次回に向けての打合せを行った。</p> <p>【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士・栄養士による相談、助言 ⑤単独または共催 ⑥非該当】</p>	
<b>2. 集団特性対応型の自律支援事業</b>	
<b>2-1 健康づくり栄養フェスタの開催 (事業部)</b>	
平成24年度は、経費の節減・財政の健全な運営を図るため実施しなかった。	

## 2-2 千葉市ヘルシーカムカム2012への協力事業（千葉支部）

歯の衛生週間の行事として千葉市、千葉市歯科医師会の主催により、「ヘルシーカムカム2012」が5月27日(日)そごう千葉店6階特設会場で開催され、3,224名が来場した。本会は、千葉市教育委員会など4団体とともに共催団体として開催に加わり、「楽しい食事の紹介」のコーナーを8名の会員が協力して、市民の歯から始まる健康づくり思想の高揚に努めた。「歯の健康を保つ食事」と題したパネル（6枚）と「食事バランスガイド」の「立体こまレプリカ（食品模型）」と食事の実例を展示し子どもたちに好評を得た。コーナーへの来場者は299名で27名に栄養相談を行った。

【①県民 ②市政だより、(株)千葉市歯科医師会ホームページ、本会ホームページ ③相談・助言 ④事前に開催する担当者会議で前年度の反省を含めて検討 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-3 千葉市健康づくり大会への協力事業（千葉支部）

今年度は「みんなで考えよう！お酒と健康」をテーマとして10月13日(土)に千葉市きぼーるにおいて開催された。本会は、新世紀ちば健康プラン推進協議会の構成員として協力し、健康フェアにおける食生活コーナーの運営、病態栄養相談の実施、親子料理教室の運営などを行い、市民の健康づくりに寄与した。食生活コーナーにおいて、「生活習慣病の予防は子どもの頃から」「お酒と上手な付き合い方」をテーマにパネルや食品模型の展示の他、健康クイズ、食生活相談、試供品の配布などを行い、コーナーには314名が来場した。病態栄養相談は生活習慣病の予防や改善などに関する相談を86名に行った。これらの運営には、会員8名が協力した。総来場者数は約7,000名であった。

【①市民 ②市政だより、本会のホームページ ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤単独（主催団体） ⑥非該当】

## 2-4 がん予防展への協力事業（事業部）

9月はがん制圧月間にあたり、月間の事業として千葉県と（公財）ちば県民保健予防財団、千葉県がんセンターの主催により「がん予防展・がん講演会」が県内の主な市街地（多くの地域住民が集まるショッピングセンター内など）で開催され、県民のがん予防、健康の増進意識の高揚に役立っている。本年度は、展示会を9月8日(土)～9日(日)の2日にわたってショッピングモールユニモちはら台において開催された。開催地域の市原市の行政および病院栄養士協議会会員の協力を得て、がん予防に役立つパネルなどの展示とがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談などを行い、展示の「野菜を350g測ろう」は大変好評であり、参加者は2日間で延べ7,733名であった。栄養相談は14名に行った。

【①県民 ②主催者より広報、本会ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-5 地域健康づくり推進事業（病院）

県内17地区の活動として、地区内の自治体、または、医療機関、および他の職能団体が開催する健康増進に関するイベントに参加、協力し、地域住民に対する食生活支援活動として5月12日(土)茂原地区、看護協会「看護の日」、7月21日(土)海浜地区、看護協会「まちの保健室」協力、9月29日(土)習志野地区、「健康フェア参加協力」に協力し、展示・栄養相談などを行った。

【①県民 ②主催者により広報 ③相談・助言、その他 ④管理栄養士・栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-6 看護の日行事への協力事業（千葉支部）

千葉県看護協会千葉地区の行う看護の日の行事に協力して、5月12日(土)センシティブタワー1階南北通路において、3名の会員が栄養相談を行った。相談件数36件

【①県民 ②主催者が広報 ③相談・助言 ④専門職が担当 ⑤単独（事業協力） ⑥非該当】

## 2-7 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

県民の食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食協議会連合会）の共催により、9月14日(金)に千葉県ほかの後援を得て千葉県教育会館大ホールにおいて開催した。大会は2部構成とし1部は「3団体の式典」、2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」を行った。講演は、千葉県がんセンターセンター長中川原章先生による「『がん』の成り立ちとその予防～がんを防ぐための新12か条～」の講演を行い、会員および県民合わせて396名が参加した。

今年度は、併せて健康づくり提唱のつどいを(株)ヤクルト本社の協力を得て開催した。内容はビデオ上映「ヤクルトこの1本に秘められた思い」と、順天堂大学医学部免疫学講座准教授竹田和由先生による「体を守る免疫のはなし」の講演を行った。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-8 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

県民を対象に健康づくりや病気の予防に必要な栄養・運動・休養などに関する健康づくり講座を開催し、生活習慣病の予防や健康を維持増進するための知識を深め、望ましい食生活を実践して健康づくりを円滑にすることを目的に開催することとし、本年は10月14日(日)に千葉県立保健医療大学を会場として、高齢社会の到来を踏まえ「高齢期を元気に過ごすために」をテーマとし、身体の変化や食生活、日々の活動について講演3題を行い県民55名が参加した。より多くの県民の参加が得られるよう、インターネットのほか、県内関係機関などの協力を得て広報に努めた。

【①県民 ②本会事務所壁面掲示板、ホームページ、千葉日報・毎日新聞千葉版、チラシの配布 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-9 食育健康料理教室の開催（事業部）

平成16年度から公民館などを利用して、食と栄養をとおした健康づくりと生活習慣病の予防や食育の推進を図る事を目的として開始した。適正・円滑な運営を図るため、手引の作成と担当者会議を開催して講師を含むスタッフ5名で運営することとした。今年度も「ちばの野菜で元気もりもり」をテーマに千葉県で生産される旬の食材や郷土食や対象者などを加味して献立を作成し、事業部理事、地域活動協議会会員、事務局、開催地市町村管理栄養士などと協力して、開催地区7会場（鋸南町、八千代市、習志野市、市川市、松戸市、市原市、千葉市）として8月～2月の間に開催し、延べ参加者は190名（大人146名、子ども44名）であった。

（千葉支部）

### ①秋休み親子料理教室

健康フェア事業の一つとして千葉市との共催により、近隣小学校などの協力を得て、10月13日(土)、千葉市・きぼーる4階調理実習室において親子11家族25名を対象に食育と健康づくり料理教室を開催した。子どもたちの笑顔が素敵な楽しい催しになった。運営に

は会員5名が協力した。

#### ②冬休み親子料理教室の開催

千葉市と近隣小学校の協力を得て、12月16日(日)、千葉市ハーモニープラザにおいて親子8家族17名を対象に食育と健康づくり料理教室を開催した。子どもたちの笑顔が素敵な楽しい催しになった。運営には会員5名が協力した。

【①県民 ②本会事務所外壁の掲示板、ホームページ、親子料理教室の場合は近隣の小学校へ依頼 ③体験学習(料理教室) ④管理栄養士・栄養士が企画、実施 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 2-10 講演会・料理教室などでの講演の実施(総務部)

各種機関・関係団体などの依頼に応じて食と栄養を通じた健康づくりや生活習慣病予防に関係する講演会、研修会、料理講習会、栄養指導、栄養相談などを行い、健康づくりを支援することを目的として行う。24年度は、千葉市社会福祉協議会主催「セミナー」をはじめとし、12件の求めに応じて延べ57名が講演や調理実習指導などを行った。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー、体験学習(料理教室) ④管理栄養士・栄養士が企画、実施 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 2-11 親子料理教室の開催(学校)

児童生徒と保護者を対象にして行う親子料理教室を7月26日(木)に市川市の小学校2校、12月15日(土)に船橋市の1小学校で開催した。参加者は124名であった。家庭との連携を取りながら食育を推進する手立てとして親子料理教室の開催は大変有意義な事業であった。母親だけでなく父親の参加も多数あり、子どもたちの輝く笑顔が素晴らしい料理教室となった。

【①県民 ②該当する学校へのチラシの配布 ③体験学習(料理教室)、講座・セミナー ④管理栄養士・栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 2-12 第1回講演会「最新栄養学トピックス1」の開催(研教)

平成24年4月28日、昭和学院短期大学において、「食品の安全性について～意外と知らない農薬の知識～」を開催し105名が参加した。講師は昭和学院短期大学学長で内閣府食品安全委員会委員の畑江敬子先生にお願いした。食品安全委員会での仕事の紹介もあり、国民の食品安全性がどの様に検討されているかも知ることができた。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 2-13 第2回講演会「最新栄養学トピックス2」の開催(研教)

この事業は、他の事業を実施したことにより、実施しなかった。

#### 2-14 千葉市食育の日事業への協力事業(千葉支部)

食育月間の行事として千葉市主催でイオンと市内関係団体との協力により、食育の推進を目的として「食育のつどい」がイオンタウンおゆみ野店にて6月30日(土)に開催され、約3,000名が来場した。本会は、展示ブースの運営で食事バランスガイドと食育パネルの展示および食生活相談を行い、子どもたちに好評を得た。コーナーには156名が来場した。運営には4名の会員が協力した。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板 ③相談・助言 ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

#### 2-15 日本栄養士会共同研修事業・健やか親子21の開催(福祉協議会)

日本栄養士会との共同事業として①「健やか親子21」を第1回は10月26日(金)に千葉市蘇我勤労市民プラザにおいて、第2回は11月20日(火)に船橋市中央公民館において実施した。内容は「児童福祉施設におけるクッキング講座」でスキムミルクを使った調理実習と食育実践報告を行った。運営は福祉栄養士協議会が行い、参加者は第1回は午前25名午後30名、第2回は午前27名午後37名であった。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士・栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 2-16 健康まつり行事への協力事業(千葉支部)

千葉市勤労市民プラザ主催で関係団体が協力して地域住民の健康意識を高めるため健康の増進を図ることを目的として、「第1回健康まつり」が12月1日(土)に開催された。本会は、「お酒との上手な付き合い方」をテーマに適正飲酒や食事バランスガイド、食育パネルなどの展示と食生活相談を行い好評を得た。運営には4名の会員が協力した。

【①県民 ②千葉市勤労市民プラザによる広報 ③相談・助言 ④管理栄養士・栄養士が企画、実施 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

#### 3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供(広報部)

幅広い人々に千葉県栄養士会の活動を広報するとともに、食と栄養を通じた健康づくりに関する情報を提供して人の健康づくりを支援することを目的として、ホームページを運営し、充実に努めた。

本会の行う各種事業の広報のほか、各職域協議会が開催する研修の案内の掲載を行った。併せて、健康づくりや食育を推進し、千葉県の食文化の継承発展に役立てることを目的として、食育健康料理教室運営委員などの協力を得て、「『千産千消』レシピ」の充実を図った。平成25年度から千葉県の第2次食育推進計画を踏まえ「『千産千消』レシピ」は、「『地産地消』レシピ」に変更することとした。

【①県民 ②ホームページ ③その他(情報提供) ④管理栄養士・栄養士が記事を書き編集している ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-2 千葉日報「現代食考」記事の提供事業(広報部)

県民の健康づくりを支援することを目的として、毎週日曜日の千葉日報に、年間執筆計画を基に国の健康づくりに関する月間や年中行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理、千葉県で生産される旬の食材などに関する記事を多くの会員の協力を得て提供した。平成24年度は、53回分の記事提供となった。掲載された記事は、別冊として作成し役員に配布した。

【①県民 ②新聞の記事、ホームページ ③その他(記事提供) ④管理栄養士・栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-3 NHK千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」放送協力事業(事業部)

NHK千葉放送局の依頼を受け千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」の番組に「食と健康」をテーマに年間放送計画を作成しアナウンサーとの10分間にわたる生放送の対談番組に会員が出演し、県民に食と栄養を通じた健康づくりや生活習慣病の予防に関する情報を提供している。本年度は4月16日(月)放送の「一人暮らしの食事」をはじめとして、14回にわたって食と健康に関する情報の提供を行った。

【①県民 ②NHK千葉放送局広報、本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③その他(情報発信) ④管理栄養士・栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し(広報部)

パネルは、地域の健康づくりのイベントや職場の健康づくりに関する行事を容易に開催することを支援するために栄養千葉、ホームページなどで紹介して貸し出しを行っている。平成24年度は、千葉支部が千葉市蘇我勤労市民プラザに協力して行った健康まつりに際し、「お酒と健康・節度ある飲酒」と題したパネル2枚を作成した。今年度は、8ヶ所に貸し出しを行った。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③その他(情報提供) ④管理栄養士によるパネル作成 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-5 千葉県中小企業中央会「情報紙」への健康づくりに関する記事の提供事業(広報部)

千葉県中小企業中央会「情報紙」に8月号から健康づくりに関する記事を提供することが可能になり、健康づくり食生活講演会などの開催案内文、テレホン栄養相談事業の紹介、食と健康に関する記事の提供などを行い健康づくりを支援した。

【①県民 ②千葉県中小企業中央会「情報紙」 ③その他(情報発信) ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、講演会、展示会、集会等の内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや雑誌、チラシその他の媒体で明らかにしている。

講演会などの講師は、定評のある研究者(大学教員)、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することをとおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に係る事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、管理栄養士・栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項4号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源(人と物と仕組み)を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上(公益認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業(公益法人認定法別表19号)」にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源(人と物と仕組み)を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上(公益認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業(公益法人認定法別表19号)」にも該当する。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催】	

県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源(人と物と仕組み)を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。すなわち、本事業は、(1)栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築、(2)栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰、(3)適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むこととおして、県民の食環境を望ましいものにするべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。

以下に、平成24年度の事業の実施概要を記載する。

## IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業(定款第4条第1項第4号)

### 1. 連携構築事業

#### 1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力(総務部、事業部)

関係機関・関係団体の各種健康づくり・各種健康づくりに関する委員会・会議に本会から参画するほか、催しに協力し各種健康づくりや疾病予防に関する事業を推進することをとおして連携の構築を図った。平成24年度の関係機関・団体、各委員会・会議と催しへの協力などについて下記に挙げる。

(関係機関・関係団体)

(社)千葉県医師会、(社)千葉県歯科医師会、(公社)千葉県看護協会、(一社)千葉県歯科衛生士会、(一社)千葉県調理師会、(一社)千葉県診療放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食協議会連合会、(公財)ちば県民保健予防財団

(関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織)

千葉県小児保健学会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会議、千葉県口腔保健円卓会議(催しへの協力)

(一社)千葉県歯科衛生士会主催：千葉県栄養士会協力 「かむ子・のびる子・元気な子 健康かみかみ弁当料理コンクール」への協力(料理審査担当、栄養士会会長賞有り)、(一社)千葉県調理師会主催：調理師大会「料理コンクール」への協力(料理審査担当、栄養士会会長賞有り)

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③その他 ④専門職的な知見を有する者 ⑤共催 ⑥非該当】

### 1-2 調理師試験受験準備講習事業に対する協力事業(事業部)

本会は平成12年度から、(一社)千葉県調理師会の行う調理師試験対策事業に協力し、調理師試験の合格率の向上に寄与し県民の健康と食の安全の進展を図ることを目的として「調理師試験対策委員会」を設置して必要な事業を行っている。事業は、受験準備講習会の運営協力と「調理師試験問題の正解と説明」の作成などを行うこととし、7科目を担当し県内13会場で開催された講習会に延べ60名の講師を本会の管理栄養士が担当した。

【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業

### 2-1 栄養改善奨励賞の授与(学術部、総務部)

栄養改善に顕著な功績のあった管理栄養士・栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い、管理栄養士・栄養士の研究を奨励し、振興を図ることを目的に栄養改善奨励賞の授与を行う。24年度は第13回千葉県栄養改善学会に発表のあった一般口演25題を対象に、顕彰審査会を開催して審査を行い次の5題を表彰に値するとして理事会に推薦し、理事会において以下の5題を栄養改善奨励賞に決定した。

決定した内容は、○中村智美「陸沢町ウエストへのス塾(健康コーディネート事業)について」、○村上智洋「地域生活を送る知的障害を持つ人のための栄養支援方法の検討」、○藤城正子 他5名「重症熱傷より出血性ショック、感染症、腎機能不全を併発し栄養介入により改善がみられた一症例」、○鈴木洋子 他2名「東日本大震災からの課題～院内災害対策システム・災害対応マニュアルの見直しと作成～」、○國久かおる「特別支援学校における食に関する指導」であった。

表彰状の授与は千葉県栄養士会総会式典において行う。

【①管理栄養士・栄養士、栄養関係団体・個人②本会事務所壁面掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準の設置 ⑤単独 ⑥非該当】

## 3. 適正な食生活を支援する制度の整備

### 3-1 栄養教諭の配置促進事業(総務部)

栄養教諭の配置の促進を図り、小・中学校における食育を推進することは、健全な発育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、昨年度に引き続き10月3日(水)千葉県教育委員会担当課に学校栄養職員の栄養教諭免許取得者の全員を栄養教諭として採用することと、市町村費負担の学校栄養職員の栄養教諭職の新設を要望した。要望書には、「栄養教諭の配置に伴う成果などに関する実態調査結果」を添付した。

【①学校給食に携わる管理栄養士・栄養士 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③その他 ④管理栄養士・栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業(総務部)

日本栄養士会の作成した「保健所等管理栄養士配置に関する陳情書」および「市町村管理栄養士配置に関する陳情書」を使用し、地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくり施策の進展を目的として千葉県健康福祉部主管課、保健所担当者と共同して保健所管理栄養士の配置促進、市町村行政栄養士の未配置(1町)の解消と複数配置(15市町)の促進について陳情活動を11月中旬から12月にかけて行い、多くの市町で健康づくりにおける食と栄養の必要性について理解を深めた。

【①県民 ②本会事務所外壁掲示板、ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるようにした。

事業内容には、管理栄養士・栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者(大学教員)、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりを行った。

その他、県民(地域住民)の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

## V. 法人運営に関する事業

### 1. 各種事業の充実への取り組み

#### 1-1 執行体制の強化(総務部)

役員の変更が行われたことから「業務の手引き(全体編)」を改定し、24年度第4回理事会の午前中は、これらを使用した理事研修会を開催し役員としての理解を深めた。併せて、事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各部担当者会議、各種委員会などを定期的に開催し、事業の円滑な執行に努めた。

#### 1-2 事務局体制の充実(総務部)

事務局職員の業務分担や業務の処理方法などを明確にして、業務の効率的かつ適正な運営に努めるとともに、会員管理および会員対応事務と各種事業の実施に伴う事務局業務の充実を図った。併せて、収入増対策と各種事業の経費の節減と節水・節電などに努めた。

### 1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

栄養ケア・ステーション事業推進委員会を定例的に開催して、各種栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に努めた。中央建設国保千葉土建の特定保健指導の実施に当たっては、保健指導担当者の協力を得て実施マニュアルの作成などを行った。

### 1-4 職域協議会事務担当者研修会および担当者会議の開催（総務部）

各部との合同により職域協議会事務担当者研修会および担当者会議を7月28日(土)に開催した。午前中は、多くの協議会で役員の改選が行われたことから役員として理解してほしい栄養士会に関する基本的な事柄を中心とした研修を行った。午後は、事業の運営に必要な事柄について、全体的な説明を行った後に各担当ごとに分かれて会議を行った。

会計処理については、これとは別に会計担当者会議を2回開催し、職域協議会における出納簿の作成および中間決算の実施方法などについて研修を行った。

### 1-5 組織・財政問題検討委員会の開催（総務部）

検討委員会を2回開催し、第3次組織強化長期計画の推進を中心に組織の強化と財政の強化などについて検討を進めた。

### 1-6 協賛会員対策の推進（総務部）

機関紙「栄養千葉」とホームページへの優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載した。また、職域協議会の研修会における展示会の開催の促進を図った。しかし、日本栄養士会の賛助会員対策を参考にした新たな本会協賛会員対策については十分に検討することはできなかったが、平成25年度から協賛会員および会員のメリットを図ることを目的として栄養千葉発送時に協賛会員の会員向け「商品特別案内チラシの封入」を実施することとした。

### 1-7 非常災害時支援体制の整備（総務部）

特定給食施設の非常災害時に備えた体制の整備に役立つ情報の提供、地域住民に対する非常災害時の支援活動の方法の検討については実施することができなかったが、日本栄養士会の進めている災害支援管理栄養士・栄養士構築事業（JDA-DAT構築事業）に参加することの意義・必要性などについて理事会で理解を深め、リーダー研修会に1名が参加した。

### 1-8 会費の自動払込みの促進（総務部）

会費の早期納入、事務局作業の省力化と徴収時の事故防止の観点から、機関紙に自動引き落としについて記載し、依頼者の増加に努めたが、継続入会率の向上の観点から十分でないので25年度は、増加のための対策を検討・実施する。24年度の利用者は391名であった。

### 1-9 財政基盤の強化（総務部）

事務所建設費の返済や固定資産税等の支出が増加していることなどを踏まえ、公益社団法人としての財政基盤の強化のため、会員および協賛会員の拡充確保に努めた。しかし、学校健康教育協議会会員の大幅な減少から、財政基盤は危機状態にあることから、25年度は組織をあげた収入増対策が必要になる。

### 1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営（総務部）

会員の職場における問題解決に必要な支援を行うことを目的とし設置したが、24年度は委員会は開催することはなかった。

### 1-11 日本栄養士会関係会議への出席（総務部）

定時総会および諮問会議、地区会長会議を始めとする各種関係会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

### 1-12 諸規程の整備（総務部）

公益社団法人への移行・新定款の施行に伴い、全ての規約の見直し改正を行った。見直し・改正にともない定款施行細則を定款施行規則に、職員服務規程を職員就業規程に変更した。また、会計処理規程は、見直しに伴って会計処理規程細則を廃止し、会計処理規程のみとした。

### 1-13 会報「栄養千葉」の発行

110号から112号まで発行した。

### 1-14 公益社団法人移行記念祝賀会の開催

4月1日から公益社団法人へ移行したことから、これを記念して9月14日、千葉市・三井ガーデンホテル千葉において移行記念祝賀会を開催し、来賓、協賛会員、会員合わせて150名が参加した。開会の後、移行準備を進めるに当たって多大な協力を得た日本栄養士会監事・顧問弁護士：早野貴文先生から「栄養士会の公益社団法人移行の意義」と題した記念講話を行った。

## 2. その他 会議の開催状況

### (1) 理事会

第1回 4月14日(土)

1. 平成23年度収支決算および監査報告について
2. 平成24年度予算の一部変更について
3. 平成24年度定時総会の開催運営について
4. 平成24年度生涯学習研修会の開催について
5. 日本栄養士会会長表彰候補者の推薦について
6. その他

第2回 5月26日(土)

1. 会長、副会長（代表理事）の選定について  
第3回 5月26日(土)

1. 平成24・25年度役割分担および顧問・参与の委嘱について
2. 平成24・25年度各委員会委員の委嘱について
3. 平成24年度事業・会議予定表および事業の執行について
4. 生涯学習研修会の開催運営について
5. その他

第4回 7月14日(土)

1. 平成24年度事業の執行について
2. 会計処理規程について

3. その他

第5回 9月8日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 健康づくり提唱のつどいの開催運営について
3. 公益社団法人移行記念祝賀会の開催運営について
4. 健康づくり栄養講座の開催運営について
5. 平成24年度診療報酬改定に伴う管理栄養士の確保の対応について
6. 千葉県栄養改善学会の開催について
7. 公益社団法人としての組織の強化と事業の充実について
8. その他

第6回 1月19日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の演題の確保と開催運営について
2. 平成24年度事業報告・収支決算の作成について
3. 平成25年度事業計画・予算案の作成方法について
4. 平成25年度定時総会および管理栄養士・栄養士研修会の開催運営について
5. 平成24年度収支見込みと事業の見直しについて
6. その他

第7回 3月16日(土)

1. 平成24年度事業報告(案)の作成について
2. 平成25年度事業計画および予算の決定について
3. 平成25年度定時総会の開催について
4. その他

(2) 部長会

第1回 5月19日(土)

1. 平成24年度定時総会の開催運営について
2. 生涯学習研修会の開催運営について
3. 平成24・25年度役割分担および顧問・参与の委嘱について

て

4. 平成24・25年度各委員会委員の選任について
5. 平成24年度事業・会議予定および事業の執行について
6. その他

第2回 6月23日(土)

1. 平成24年度事業の執行について
2. 会計処理規程について
3. その他

第3回 8月25日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 健康づくり提唱のつどいの開催運営について
3. 公益社団法人移行記念祝賀会の開催運営について
4. 健康づくり栄養講座の開催運営について
5. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
6. 公益社団法人としての組織の強化と事業の充実について
7. その他

第4回 12月1日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の演題の確保と開催運営について
2. 平成24年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
3. 平成25年度事業計画・予算案の作成(職域協議会含む)について
4. 平成25年度定時総会の開催について
5. 平成24年度収支見込みと事業の見直しについて
6. その他

第5回 3月2日(土)

1. 平成24年度事業報告案の作成について
2. 平成25年度事業計画・収支予算案の作成について
3. 平成25年度定時総会の開催について
4. その他

# 貸借対照表

平成25年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,636,750	10,689,468	△ 1,052,718
未収入金	0	0	0
前払金	0	53,945	△ 53,945
前払費用	179,715	286,780	△ 107,065
仮払金	0	1,820	△ 1,820
流動資産合計	9,816,465	11,032,013	△ 1,215,548
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	13,027,221	13,821,282	△ 794,061
基本財産合計	13,027,221	13,821,282	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,564,818	1,444,479	120,339
医療機関栄養業務実態調査預金	500,003	450,003	50,000
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	2,961,805	3,001,207	△ 39,402
特定資産合計	5,626,626	5,495,689	130,937
(3) その他固定資産			
什器備品	55,771	80,501	△ 24,730
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	355,771	380,501	△ 24,730
固定資産合計	19,009,618	19,697,472	△ 687,854
資産合計	28,826,083	30,729,485	△ 1,903,402
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	0	70,591	△ 70,591
前受会費	4,061,000	5,268,000	△ 1,207,000
預り金	2,551,811	3,479,200	△ 927,389
流動負債合計	6,612,811	8,817,791	△ 2,204,980
2. 固定負債			
長期借入金	853,862	1,401,836	△ 547,974
退職給付引当金	1,563,670	1,443,670	120,000
固定負債合計	2,417,532	2,845,506	△ 427,974
負債合計	9,030,343	11,663,297	△ 2,632,954
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	19,795,740	19,066,188	729,552
(うち基本財産への充当額)	(13,027,221)	(13,821,282)	(794,061)
(うち特定資産への充当額)	(5,626,626)	(5,495,689)	130,937
正味財産合計	19,795,740	19,066,188	729,552
負債および正味財産合計	28,826,083	30,729,485	△ 1,903,402

# 正味財産増減計算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

(注) 当年度より事業区分を見直しているため、前年度決算額は記載していない。

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	937	630	307
特定資産受取利息	937	630	307
受取入会金	101,000	99,000	2,000
受取入会金	101,000	99,000	2,000
受取会費	20,102,500	21,107,000	△ 1,004,500
受取会費	16,402,500	17,457,000	△ 1,054,500
協賛会費	3,700,000	3,650,000	50,000
事業収益	8,968,616	6,074,202	2,894,414
受取受講料 (会員)	2,235,700	2,213,400	22,300
受取受講料 (会員以外)	326,160	309,540	16,620
受取分担金	1,297,000	320,000	977,000
受取業務手数料	2,380,253	1,580,560	799,693
受取事業協賛金	2,042,000	1,258,000	784,000
販売収益	21,000	22,000	△ 1,000
雑収益	666,503	370,702	295,801
受取補助金等	0	17,894	△ 17,894
受取市補助金	0	17,894	△ 17,894
受取寄付金	110,000	450,380	△ 340,380
受取寄付金	110,000	78,199	31,801
震災支援金	0	372,181	△ 372,181
雑収益	1,043	1,198	△ 155
受取利息	1,043	1,198	△ 155
経常収益計	29,284,096	27,750,304	1,533,792
(2) 経常費用			0
事業費			0
給料手当	3,956,162	4,489,667	△ 533,505
臨時雇賃金	357,000	510,841	△ 153,841
退職給付費用	82,320	86,520	△ 4,200
福利厚生費	363,389	345,393	17,996
会議費	955,982	1,407,780	△ 451,798
旅費交通費	1,463,870	1,738,669	△ 274,799
通信運搬費	1,444,415	1,883,063	△ 438,648
減価償却費	561,691	663,605	△ 101,914
消耗品費	1,751,397	1,746,782	4,615
印刷製本費	1,071,404	965,527	105,877
光熱水料費	219,663	186,958	32,705
賃借料	617,400	648,900	△ 31,500
保険料	72,423	132,200	△ 59,777
諸謝金	4,300,428	4,463,214	△ 162,786
会場費	672,480	1,345,341	△ 672,861
リース料	503,835	521,107	△ 17,272
食料費	482,953	450,313	32,640

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支払負担金	270,725	212,480	58,245
渉外費	145,340	90,000	55,340
表彰費	40,000	20,000	20,000
物品費	0	11,000	△ 11,000
災害支援金	0	372,181	△ 372,181
租税公課	86,316	60,781	25,535
支払利息	24,099	37,318	△ 13,219
消耗什器備品	18,816	0	18,816
修繕費	57,249	0	57,249
雑費	104,024	405,512	△ 301,488
事業費計	19,623,381	22,795,152	△ 3,171,771
管理費			0
給料手当	1,810,838	1,737,333	73,505
臨時雇賃金	0	13,559	△ 13,559
退職給付費用	37,680	33,480	4,200
福利厚生費	166,333	133,654	32,679
会議費	509,996	912,135	△ 402,139
旅費交通費	166,275	177,097	△ 10,822
通信運搬費	267,307	540,418	△ 273,111
減価償却費	257,100	256,790	310
消耗品費	311,200	321,386	△ 10,186
印刷製本費	1,699,222	2,076,210	△ 376,988
光熱水料費	100,546	72,346	28,200
賃借料	282,600	251,100	31,500
保険料	5,677	5,044	633
諸謝金	974,447	1,185,500	△ 211,053
会場費	77,250	102,085	△ 24,835
リース料	230,619	201,649	28,970
食料費	1,440,295	138,425	1,301,870
支払負担金	93,515	72,408	21,107
渉外費	100,912	236,707	△ 135,795
租税公課	41,689	23,520	18,169
支払利息	11,031	14,440	△ 3,409
表彰費	30,712	0	30,712
修繕費	26,205	0	26,205
消耗什器備品	186,930	0	186,930
雑費	102,784	162,914	△ 60,130
管理費計	8,931,163	8,668,200	262,963
経常費用計	28,554,544	31,463,352	△ 2,908,808
当期経常増減額	729,552	△ 3,713,048	4,442,600
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
前期損益修正益		34,703	△ 34,703
経常外収益計	0	34,703	△ 34,703
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0		0
当期経常外増減額	0	34,703	△ 34,703
他会計振替額	0		0
当期一般正味財産増減額	729,552	△ 3,678,345	4,407,897
一般正味財産期首残高	19,066,188	22,744,533	△ 3,678,345
一般正味財産期末残高	19,795,740	19,066,188	729,552
II 正味財産期末残高	19,795,740	19,066,188	729,552

# 財 産 目 録

平成25年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金		
	現金	手元保管 現金	運転資金として 173,861
		職域協議会・千葉支部現金	運転資金として 204,933
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店	
		普2006576	運転資金として 73,391
		普2020609	運転資金として 182,081
		普3192700	運転資金として 62,571
		普3409598	運転資金として 333,079
		普3006299	運転資金として(千葉支部) 0
		千葉銀行君津支店	
		普3677832	運転資金として(学校) 48,100
		千葉銀行松ヶ丘支店	
		普3335507	運転資金として(福祉) 67,177
		千葉信用金庫作草部支店	
		普0682242	運転資金として 1,196,005
		普0685151	運転資金として 141,618
	普通貯金	ゆうちょ銀行	
		10580-15293221	運転資金として 50,098
		10570-30174421	運転資金として 318,537
		10530-10135981	運転資金として(行政) 36,591
	10520-49676711	運転資金として(病院) 0	
	10550-52137101	運転資金として(集健) 21,162	
	10520-54350591	運転資金として(地活) 0	
	10550-67084701	運転資金として(研教) 4,867	
振替口座	ゆうちょ銀行		
	00110-7-779711	運転資金として 207,724	
	00180-2-94011	運転資金として 6,421,431	
	00180-0-576091	運転資金として 93,524	
		<b>【現金預金計】</b>	9,636,750
前払金			0
		<b>【前払金計】</b>	0
前払費用	千葉県教育会館に対する前払額	栄養改善大会会場代の内金	10,000
	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	63,945
	千葉県教育会館他に対する前払額	各協議会経費の前払額	105,770
		<b>【前払費用計】</b>	179,715
仮払金			0
		<b>【仮払金計】</b>	0
<b>流動資産合計</b>			<b>9,816,465</b>
(固定資産)	基本財産		
	建物	115.7㎡ 千葉市若葉区殿台町122 平屋1階建	共有財産 うち公益目的保有財産 68.8% うち管理目的の財源 31.2%
		<b>【基本財産計】</b>	13,027,221

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額	
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた積立資産である。	1,564,818	
	医療機関栄養業務実態調査預金	千葉銀行松ヶ丘支店	県内医療機関栄養業務実態調査事業の積立資産である。	500,003	
	全国公衆栄養活動研究会預金	ゆうちょ銀行	全国公衆栄養活動研究会事業の積立資産である。	600,000	
	柴田顕彰会預金	千葉信用金庫作草部支店	栄養改善功労者を顕彰するための事業の積立資産である。 【特定資産計】	2,961,805 5,626,626	
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 68.8% うち管理目的の財源 31.2%	55,771	
	敷金・保証金	紅谷正男氏に対する敷金支払額	借地の敷金として	150,000	
		紅谷正男氏に対する保証金支払額	借地の保証金として	150,000	
			【その他固定資産計】	355,771	
固定資産合計				19,009,618	
資産合計				28,826,083	
(流動負債)	未払費用			0	
			【未払費用計】	0	
	前受会費	会員からの預り額	平成24年度の会費および入会金の預り額		
			行政 43名分	430,000	
病院 108名分			1,096,500		
		学校 23名分	240,000		
		福祉 91名分	923,000		
		集健 13名分	131,000		
		地活 114名分	1,158,000		
		研教 8名分	82,500		
			【前受会費計】	4,061,000	
預り金	会員からの預り額	日栄会費の預り額 382名分		2,483,000	
		税理士他からの預り額	源泉所得税の預り額	18,378	
		職員からの預り額	社会保険料の預り額	31,070	
		職員からの預り額	給与源泉所得税の預り額	19,363	
			【預り金計】	2,551,811	
流動負債合計				6,612,811	
(固定負債)	長期借入金	千葉信用金庫作草部支店	建物購入資金	853,862	
				【長期借入金計】	853,862
	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの	1,563,670	
			【退職給付引当金計】	1,563,670	
固定負債合計				2,417,532	
負債合計				9,030,343	
正味財産				19,795,740	

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。

什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

### 2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	13,821,282	0	794,061	13,027,221
小 計	13,821,282	0	794,061	13,027,221
特定資産				
退職給付引当資産	1,444,479	120,339	0	1,564,818
医療機関栄養業務実態調査預金	450,003	50,000	0	500,003
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,001,207	598	40,000	2,961,805
小 計	5,495,689	170,937	40,000	5,626,626
合 計	19,316,971	170,937	834,061	18,653,847

### 3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	13,027,221	0	(13,027,221)	0
小 計	13,027,221	0	(13,027,221)	0
特定資産				
退職給付引当資産	1,564,818	0	(1,564,818)	(1,563,670)
医療機関栄養業務実態調査預金	500,003	0	(500,003)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	2,961,805	0	(2,961,805)	0
小 計	5,626,626	0	(5,626,626)	(1,563,670)
合 計	18,653,847	0	(18,653,847)	(1,563,670)

### 4. 担保に供している資産

建物 13,027,221円は、長期借入金 853,862円の担保に供している。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	17,262,213	4,234,992	13,027,221
什器備品	1,839,491	1,783,720	55,771
合 計	19,101,704	6,018,712	13,082,992

以上のとおり相違ありません。

平成25年 4 月13日

公益社団法人 千葉県栄養士会  
会 長 長谷川 克 己 印  
副会長 東 憲 三 印  
副会長 今 井 志都子 印

監 査 報 告 書

公益社団法人千葉県栄養士会  
会長 長谷川 克己 様

平成25年 4 月13日

公益社団法人千葉県栄養士会  
監 事 高澤 博道 印

公益社団法人千葉県栄養士会  
監 事 酒井 秀大 印

私たち監事は、平成24年 4 月 1 日から平成25年 3 月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法およびその内容

- (1) 各監事は、理事および事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿又はこれらに類する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類およびその附属明細書類並びに財産目録の監査結果

計算書類およびその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。